



■ Lecture 1-1 Osaka Museum of Natural History ■ Lecture 1-2 Tennoji Zoo ■ Lecture 1-3 The Museum of Oriental Ceramics, Osaka



■ Lecture 1-4 Osaka Museum of History ■ Lecture 2-1 Osaka Science Museum ■ Lecture 2-2 Osaka City Museum of Modern Art, Shinsaibashi Temporary Exhibition Space



■ Lecture 2-3 Osaka City Cultural Properties Association ■ Lecture 2-4 Osaka Castle Museum ■ Lecture 2-5 Osaka Municipal Museum of Art

平成22年度 ミュージアム連続講座

梅田で学ぶ大阪・京都・神戸-となり合う都市の魅力再発見-

2010.9.3 fri - 10.29 fri 午後7時～午後8時30分 (開場は午後6時30分より)

今年度のミュージアム連続講座は8ONの大阪歴史博物館、大阪市立自然史博物館、大阪市立美術館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪城天守閣、大阪市立科学館、大阪市立近代美術館建設準備室、天王寺動物園の8館園に、市内の遺跡の発掘調査を行っている大阪文化財研究所が加わり、合計9回の講演会を行います。大阪市の様々な分野の専門家が同じテーマで話す数少ない機会です。この機会に是非、ご参加ください。



※本講座はネットワーク型市民セミナーとして、大阪市立生涯学習センターとの共同で実施しています。

参加費 無料 **定員** 前期、後期とも各80名 ※(応募者多数の場合は抽選)

前期 4回 9月3日(金)～9月24日(金) **後期** 5回 9月30日(木)～10月29日(金)

申し込み方法 / 往復はがきに、前期・後期の区分、名前(ふりがな)、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください。
※申し込みは、はがき1枚につき1名、前期、後期のいずれかとなります。
※講座のお申し込み時の個人情報につきましては、本講座に関する連絡のみ利用させていただきます。

申し込み先 / 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 大阪歴史博物館内 (財)大阪市博物館協会 連続講座 前期または後期 係

締切 / 前期:8月20日(金)当日消印有効 後期:9月17日(金)当日消印有効

お問合せ先 / 大阪市総合コールセンター TEL:06-4301-7285 FAX:06-6644-4894

会場 / 大阪市立総合生涯学習センター第1研修室(駅前第2ビル5F)
交通 / 地下鉄四つ橋線「西梅田」、御堂筋線「梅田」、谷町線「東梅田」、JR「大阪」、JR東西線「北新地」、阪急「阪神」「梅田」
主催 / 財団法人大阪市博物館協会・財団法人大阪科学振興協会 大阪市ゆとりとみどり振興局

詳しい日程は裏面、連続講座スケジュールをご覧ください。

平成22年度 ミュージアム連続講座スケジュール

前期	第1回 9月3日(金)	大阪市立自然史博物館 淀川水系の魚類 ワンドなど多様な環境のある淀川水系には約130種の魚類が知られていますが、最近、人間活動の結果、特に淡水域の魚類の生存が脅かされています。今回は、周辺都市の水域も含めた淀川水系の魚類の現状についてお話しします。	主任学芸員 / 波戸岡清峰
	第2回 9月10日(金)	天王寺動物園 京都、大阪、神戸の動物園(その今日的役割) 京阪神の3都市には、それぞれ歴史のある動物園があります。いずれも、大都市の中にある都市型動物園で、京阪神のみならず、広く関西地区の人々を中心に親しまれてきています。本講座では、天王寺動物園を中心に動物園の今日的役割について概説します。	天王寺動植物公園事務所保健主幹・獣医師 / 高橋雅之
	第3回 9月17日(金)	大阪市立東洋陶磁美術館 海を渡った高麗青磁と大阪、京都一水注を中心に 大阪や京都の遺跡からは高麗青磁の梅瓶や枕、そして水注などが出土しています。いずれも、高麗時代の優雅な貴族文化のなかで発展を遂げたものです。水や酒、茶などを注ぐための器である「水注」にとくに焦点を合わせ、その展開と、日本での受容の意味を探ります。	学芸員 / 鄭銀珍
	第4回 9月24日(金)	大阪歴史博物館 淀川流域の川漁師と河川漁撈 淀川では今もなお、ウナギやシジミを対象として漁をおこなう川漁師がいます。今回は、京都府南部にあった巨椋池から淀川河口までの河川漁撈の実態を、川漁師からの聞き取りにもとづき報告します。	学芸課長 / 伊藤廣之

後期	第1回 9月30日(木)	大阪市立科学館 京都、大阪、神戸の天文学史跡 関西地域は、今も昔も天文学と深い関わりがあります。京都では、古代から陰陽師が夜空を観察していたのをはじめ、大阪や神戸では近代的な天文観測や研究が盛んでした。本講座では、史跡めぐりを通して、日本の天文学の歩みを紹介します。	主任学芸員 / 嘉数次人
	第2回 10月7日(木)	大阪市立近代美術館建設準備室 大阪と京都の油絵のはじまり 大阪の油絵の歴史は、1890年頃、山内愚僊と松原三五郎が大阪に移り住んだことから始まりました。彼らが京都の画家とも関わって活動した明治から、小出楯重、鍋井克之らが活躍する昭和初めまでの、大阪の洋画家をご紹介します。	学芸員 / 高柳有紀子
	第3回 10月14日(木)	大阪文化財研究所 “有事”の考古学一千年王国(京都) vs 必滅の津の国政権(大阪・神戸) 大阪(難波)に羅城が築かれたのは679年、京都には1591年の御土居築造まで城壁はありませんでした。その間、京都の朝廷はいかにして生き延びたのか。また、津の国(摂津)の政権(平氏・豊臣氏)はなぜ滅んだか?都市の防御施設から考えます。	主任学芸員 / 黒田慶一
	第4回 10月21日(木)	大阪城天守閣 京都、大坂の大名屋敷について考える 江戸時代の京都、大坂には大名の屋敷が数多くありました。将軍のいた江戸はともかく、大名はなぜ京都や大坂にも屋敷を構えたのでしょうか。本講座では、大坂を中心に各大名屋敷の果たした役割について紹介します。	学芸員 / 瀬島宏計
	第5回 10月29日(金)	大阪市立美術館 描かれた住吉大社のイメージ 摂津国一の宮である住吉大社は、古来歌枕の地として知られ、源氏物語をはじめ様々な文学に登場し、また住吉明神、住吉大社の景観は絵画、工芸に描かれてきました。この講義では美術作品を中心に描かれた住吉大社のイメージを画像でたどりながら、その特色、変遷について紹介したいと思います。	学芸員 / 土井久美子